

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「持続可能な社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

労働人口減少を克服する“社会活動寿命”の延伸と人の生産性を高める「知」の拡張の実現

3. 研究開発課題名

ICTを活用した、協調に関わる技能とチームスキルの継承支援

4. 研究開発代表者名（機関名・役職は評価時点）

植田 一博（東京大学 大学院総合文化研究科 教授）

5. 評価結果

本研究開発課題の探索研究期間における目標として「新しい人体動作計測手法の開発に向けた原理検証」と「身体協調技能にかかる潜在知のメカニズムの解明と伝承システムの構築」を設定し、勘やコツといった潜在知の継承という挑戦的な課題解決が目指された。GPSを用いた人体動作計測手法については、いくつかの技術的課題が残るものの、これまでにない性能を持ち、今後様々な目的で活用可能な計測システムの開発が進んだことが評価された。伝承システムの構築では、身体協調技能の例としてバスケットボールと文楽の人形操作を対象とし、本計測システムを用いた伝承の実証研究に果敢に挑戦したことが評価された。また、研究開発代表者は、文楽の人形操作において、既存の動作計測技術で不可能だった着衣状態での測定といった独自性の高い研究開発を実施した。

以上のような、探索研究期間での活動および成果によって、当初の計画は概ね順調に進捗していると判断され、将来、様々な領域での技能伝承にも活用可能な技術として、展開されることが期待される。

以上